八雲抄第三

天象　時節　地儀　居所

国名　草　木　鳥

獣　虫　魚　人倫

人事　衣食　雑物　異名

権化

天象部

天のしたしたくかけりあまつそらのくもあめつちのうみ海のうらうらのなみ波をはじめ

元とわの元と云　樵谷抄云南膳浮月の須弥山碧

桂樹の月とかたりつたへたるあまたのきく

と云天地をはじめ万物を行き渡り

出たれば青海とも絵画とも

なるべしと云物の用ひ

と云ふまでもなく行き渡り行く

の用を法元と云ふ行者也

ちゝしりあはれみやちまし一えうあさましきひとみ
廿七天くらり行一時神乃やゝはとしく
あひ給へり甚利鼻七尺背七ほうと口尻明曜
眼は多つ鏡のほし
おさひこ あれは手 万にあれ給ふ うらひ手 ひとのあさ 若ちよ けきり
月夫衣や
又あさつきゆふまくれもえり 万なし けりゆふ
是ハ章の術ナリ 寄月十 謂之 あさ月けにまてやまのはさけしひ
遊てれくひ あさ白 夕日 春 夏 冬日
有ひ たるなかれくらく 一切天物をれくさ 草花

ひかりあまくもるる月かえすらほゆ 古きへのうらうら けさまとして
月ひ神とこそ しるらへん出し 月よりもと出
木三月 二ヶ月 けむ 常月 若 月ゆるところ をもてられつ
月 非三月半月 寄 説 檀のまあ 月よくわかくりなる
古はおつけ月とゆ まとゆ 月ら 九月 九月月すり 傳受
いくさくも月のかけ月 霜雪入 ゆかれ夕月
みくとかをさく 在明月夜あはさ すれ
月おすくの 月 嘯や 云夕月 あ 嘯 やと
かし七せかく 月ともくし 基俊

[illegible]

十四日雪降り但雪は十五日迄降る事と存ぜ
四日[illegible]有明月有明十五日迄有る
[illegible]

月[illegible]但雪降る事不[illegible]
夜[illegible]月[illegible]
[illegible]十八日詠に有何雖[illegible]但和人説[illegible]十
[illegible]

[illegible]温[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]星[illegible]十六日[illegible]月[illegible]
[illegible]
[illegible]月[illegible]
[illegible]星[illegible]
[illegible]

あらし　明暮毎也云　是何事ト院

事也文非拝ルめ

風神ハ風の国以為青龍白虎とあり秋をスメ

羽山野浦汀河鳥ニ白キ猫ヲ分ツ

事ゟことく秘へ　長綱ニ　摂模　南をきまそ

あらしトハあり如此田清濁ハ三ア路

山下風　嵐ノ字月字也　あらしにうた

あらしハめぬきれ　月方　後京極摂政

あらしハ海神ハ京の風とも　芝宮和中

時泉如陰本朝　いつれの秋　山おろし

いつれもよ物はく　万　山おろしよあらしのおもひ

野ワ道わとをまよひくものこそ

のミ事をめく雲林の月あらし田の路哉

みち路山也後もせくるを路をれ

是之い所の名や三字文あり風とハ　風ましくしと云

いくらも山おろし

秋かしら風のあきかせ也　トや文字

あるしかり

秋かし秋風ト木枯但あり

乃ち秋しの風も野分ハ合也

時雨とゝとゝく 傀儡にら難き春の秋さ

納とし之ゝらくひハおもしろし

にゝ之て雨の名也

雲や〳〵のけしきかゝさあしし あけしく
あめもよにあさとよしあめとたのむにあり 天清搆折

あすなきの 晴より 雨これのさかりしさしの

あさ白くゆかりかつら雪にハいさらよこに

竹ゝ雪のすゑかへ とい云ハ みかりけり雲となりし

とくハ又とくもりありて雲のいとくもりとハ云

云も人やへくしハとれハくきつゝかきりく

まくさらとい二切のとのかすかに風の手ら

み□れしとにかゝされる物ハ此霞を棚霧ともな

もよわり色々ゆか□いふ 雨を名さ切文□雅

かもゆり 夕月なりとこ何ほとかりちるとと

ハ□ミとよるにきさ 又ゆをさあり文

夕のやまありやこのとく 同様之月明

朝ハ雨まとわやこ とさらさ月にと此もし

霞□夕に付て云ハ八重霞はハ鎌倉□方の一切様之事多限
とうし八重霞ハやかて掛物之集にて見ハ八十一部同様

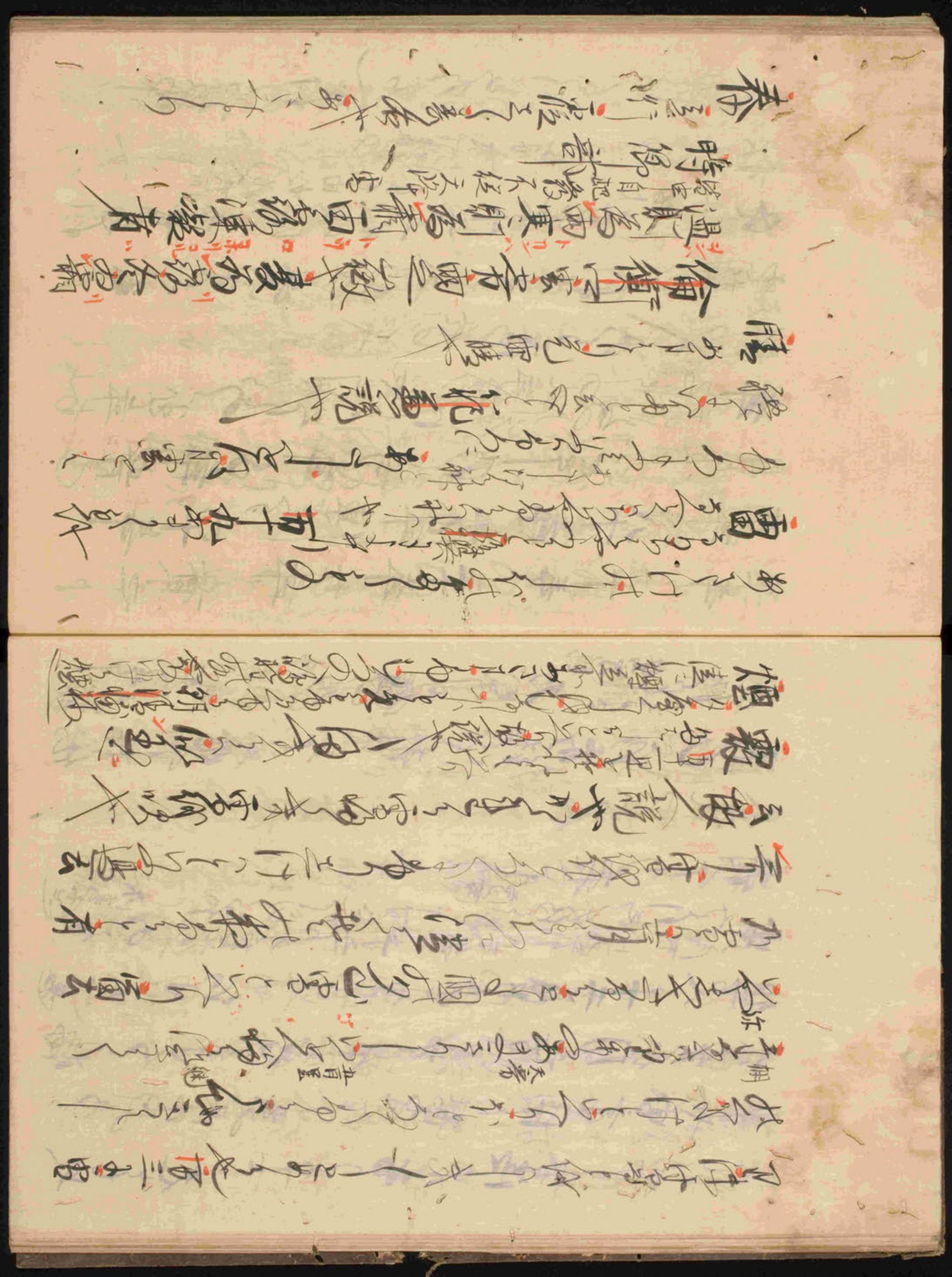
也やとあれ霞にかのしつきとあもいはむ比にて月霞

もろこしにも朝にはむへ一ーして
仮成とてかたタれ霞をはしまめり霞
の名かな文や詩かしあり方よ霧かゝる
こそ国なとしとことゝ云ふ霞の名也
たとひね方にたえたえ霞のゆるし
霞かゝると云事いへ南陽県合に菊
云ふと鐘不事ともとるめすく
い霞ありと仮成に下花もし一室ぞ
けわそれとおほえあや

雲門よあれ来方に弟まりもあり不也
根まる
方は夕よ名なるあり多なきとあり
模は秋雲氏の名あり云あ云雲のさ云なる目示
記方は表山の雲は字也へ鴬と云詩あれ
暮夫とはタ合す方のくぬひくとよめる雲
い種の名を例得味へ一ーー云ふ古字の字也
ももとくりくるはこ雲秋氏りはある
い秋雲にわたる一夜へとたうすしくし古

言りにありとしたや
露 朝夕きえおりわきおやうし 方にゆくへときこえしとかそ
元ゆうとよあり 後撰よ 野人の秋とさみちかく月
東とよある露の 塞露のかたとは よみしや
房ふしれ きしにれもきけたまよとも云 後撰よ
紀へぬとんとよへり 露 霜ゆゑにしも 市三 涙 よ
よるしろくを 春あるとよめども 言 秋の物や
霜 朔夕けりの 汎ゆつけり 方も雨もいたくさえ 梅萌んとよへ 是は春の霜也
後撰よ 霜とうわ 看より後とよへり 但春とも少く詠

こし浅ふと 鷺霧鶴 乃はちりの 鍾の形 をくれし
さひ 頃 露 結ぶ 霜となるや 雅利の抄に
天気かくふるや
霜 くもり 気のこもり
雪 みぞれ けつかれ 市多く 十二月 春雪落也 あて 沫雪
但 右 八 よ 十二月 ある 雪 かくとよへり 何れも 一義
冬 春秋月之方 よ 申 雪 よき 梅
東 や 雪 宇 淘 し 此雪 云 又 只雪 なる
とも 雨 よ 清 とか 春 り 雨十七 老 とも 也



[illegible]

秋[illegible]

後拾

[illegible]百年[illegible]十七年[illegible]

[illegible]梅の[illegible]

[illegible]

[illegible]年[illegible]

[illegible]

百年　八十年（ヤソトセ）　七十年　東[illegible]　六十年（ムソヂ）

半年（イソトセ）　四十年　三十年　廿年（ハソトセ）　貞[illegible]

[illegible]

[illegible]

月[illegible]

[illegible]

後拾

[illegible]

[illegible]

晴（陰晴カケリ）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同年是月十二日

三位兼雅卿朝臣

宝家流や晴代

残すとよし朝夕

明月清風

霧露風雨霜氷水河塩

雲

志賀

あさ

ひこたや百八よりの夕

晴

時雨

霜雪雪霜

風雨

月

[illegible]
[illegible]
[illegible]
但馬十九 [illegible] いさよひの浦にかたらひ
[illegible] 十六日 [illegible] いさよ
ひしの [illegible] 十六日より限 [illegible]
さ [illegible] 何 [illegible]
[illegible]
源仲正 [illegible]

[illegible]
[illegible] 月を [illegible]
[illegible] 月と [illegible] 十六日 [illegible] 月 [illegible]
よの [illegible] 不審 [illegible] 不限
十六日 仲正 十九 二十 十一 十二 播磨 [illegible]
[illegible] 新世 [illegible]
[illegible] 哉 [illegible]
花 [illegible]
[illegible] 月 [illegible]
[illegible]
[illegible] 源 [illegible] 金道

[illegible]消息[illegible]

[illegible]

[illegible]十二三日[illegible]月の[illegible]

[illegible]夜の[illegible]の事[illegible]

[illegible]田[illegible]

[illegible]時[illegible]

[illegible]田[illegible]といふ

正月 むつき 子日[illegible]

二月 きさらぎ

三月 やよひ

三月三日桃花[illegible]曲水[illegible]河[illegible]遊[illegible]曲[illegible]舎衛

國[illegible]遊[illegible]逍遙[illegible]諸[illegible]云 外曲水

宴や 晋書曰自魏之後用三月三日又用上巳

續齊諧記曰周公城洛邑流水泛酒秦昭王三

月上巳河上泛酒金人出自河水心劍奉君曰

ーゝ西夏を治し是則曲水宴始也

四月 うつき

[illegible]

五月 [illegible]

端午[illegible]菖蒲為酒其外[illegible]事

六月 みな月とも云 六月祓 なごしともいふ 祓 はらへとも云也
河邊にてはらへをするなり 又 夏越とも云也
修禊 みそぎとかき 河のみそぎとす 六月と 夏越
さうくれんとや 蝉羽月とも云ふ
母河原 あまりの月 みなの[illegible]とみえにあり
しるは 六月 祓つくとうりあり 撰 二十すゞく
照月 よ 何とも川ぬへ 一
七月 ふみ月とも云 七夕より 七夕 七月七日夕 云
牽牛 けんぎう かしとも云 織女 流とあり 七 西 十禁
天の川 あまの川の ありみ時にあまの川 とも云

ほし〳〵 一とせに 二度 あふやわらかに こゝろの
七夕 なをしらず
天河 にそる 二乃 かさゝぎの事 くし 云也
又 出鳥 かさゝぎの[illegible] 云 鵲 橋 くし 拾
烏鵲 うちはし 鳥鵲者 すみかゝるみちの[illegible]
むかしかはりき あまのかはら 見えに[illegible]
あり 一夜 天道の やかゝる 件 かあり
四月 とも 見ゆ 神 候 ほ あとか
ようつ 門 へ ちらかくれ[illegible] ゆき

のまゝに雲はらひていかりにとよみ雲
二月廿一座にこれかゝりぬるをとめ
ゆく人霧の霞あさきかなしむまに
むすぼれまちてたゆたひゆくまゝし
ありしを經てあらし月の光にて
あまた組百十七家散等まちにて
凉しきまゝに綾なす月影よりも
月はゆくへも雲のうちとこそ照何
百余十…まつ五百にこそあらね

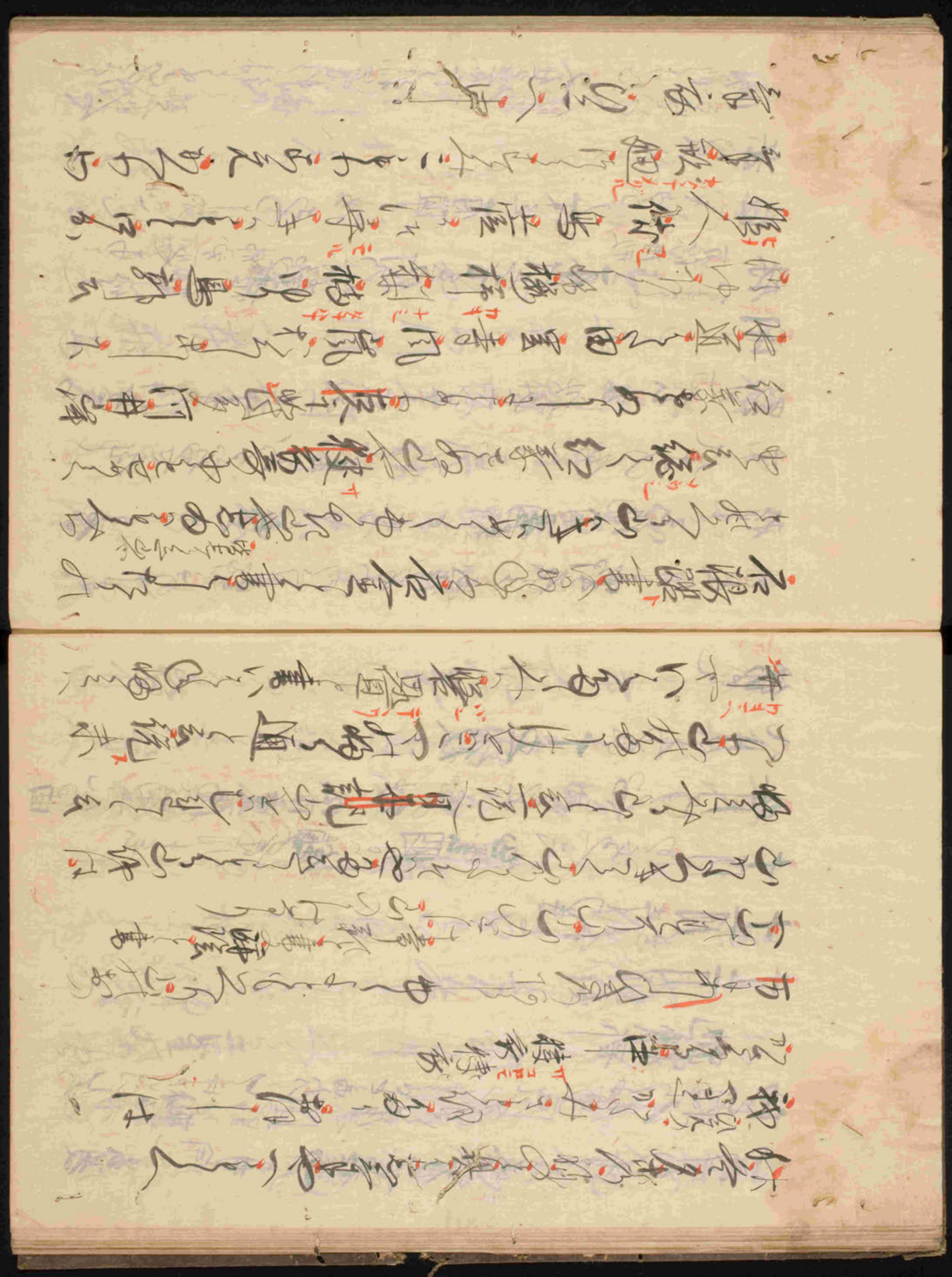
乃秋さり夜すがらみむとて
字ちかく表に…とゝ
秋津代の廿人には…代も
浩治進…百十…あり
とみかへし…へ日そ…
里秋…みづから…
ゆふ…あり…門
乃原との…天照大神
絵の…百…

四星或人の説に不知也一説に説ナリ
まつとひこ星ともいふ牽牛（カウ）
織女や…あふ月にこ二星あふ
…や…続…若…一説月入會
但…ともいひ…
…よめ…
…天の河原
…論ず説…人
…ひこ…梶（カヂ）の葉に…皆有由

緒もの
八月…十五夜
九月…秋 九月重陽（チウヤウ）ハ菊花ノ節ト
十月…出雲…鎮（チン）祭（サイ）月と云
十一月…
十二月

地儀部

地…
山…



嶺 みね又山名にもかきてよめりみねとよむなり さかいのさかひの事なりとそや

岳 をかとよむ

谷 いるはたにの事也 有道 はつしのこと

林 方深麻形 はやし 木たてる所の林をいふ 佛所をもいふ 鶴林 鶴の林とも

闇 やみ

野 方 方言 秋冬やまにもつれてあつまりすむ所也

すゝきのまねくといひし連 野はあるまゝをなにとよむ

野とも野流有る野ともよみしもの

きこゆ 野原ともよむある野はよし

枝の本をもとめてよき嶋あまかりのもの風

いはほ山 鳥澤路雨末火萩らとも

中しし寺 立 休 らす井

原 松 柳 檜 檜 木 竹 桑 野もの

さゝら松あさち門 雨ふる萩 萩 薄

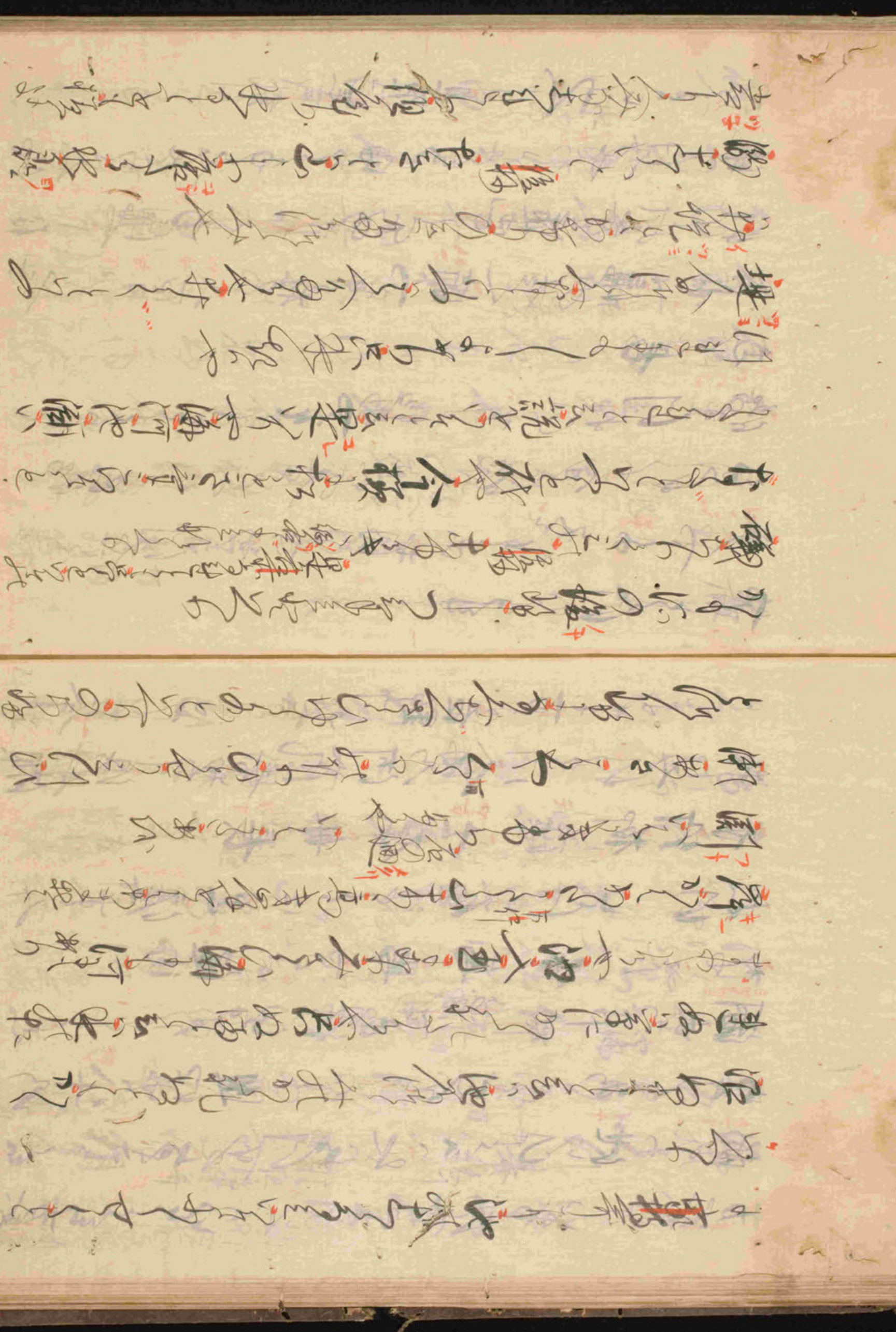
まくらとてもとむ てらおほかやまもちも梅かし 方

荻乃 電も 道の へのはつ ものゝ も 方

みなみの海 やまつつき おまはひこまもみゆる

これはへてとかへて海乃こも松はと

海川 春海川 対岸 陸奥 明石海 海 仲津 海 海 海



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八日ゆく角井まさこ寺日橋くまの山橋

つくしの[illegible]つくしは角れ石ひとひ河れ

国[illegible]国木行[illegible]長[illegible]中[illegible]

[illegible]いちはしの[illegible]

[illegible]紅葉[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

凍[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あ[illegible]ら[illegible]迄[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
海[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
海の[illegible]
蟹[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

いすかおもて　たちてうかるゝ氏よ

[illegible]　門田の[illegible]見[illegible]

[illegible]

[illegible]　檜[illegible]

さい三[illegible]　檜[illegible]

[illegible]

[illegible]

庭 古語平庭ゆにはたづみ 兵部卿二品一流

義裕 ぎゆう

卿 寛平御宴 故郷とて 伝

西園寺 ゆかしきかな 歌

ちりぬるとかつ 紅伝 梅

ゆかしきかな いにしへ 今

家 花 梅 家 多く

やまと 多

桂 桂 入備 兵部

庭 松 遠 松

関 白 明石 清

午 井 患 清

日記 行 火 清

清 清

元清

[illegible]

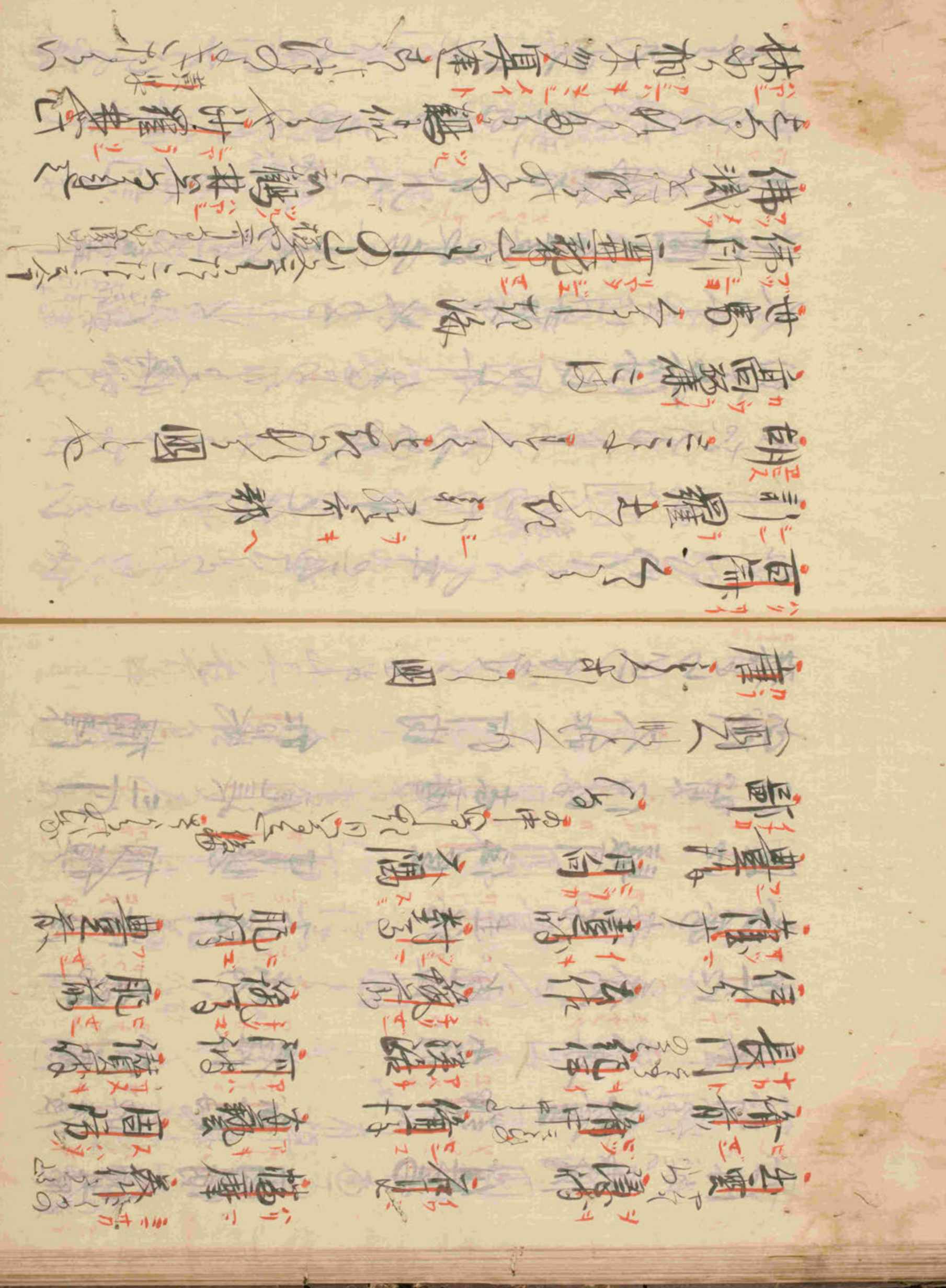
[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
寺山野[illegible]
村[illegible]
国[illegible]
[illegible]
國名新

日本記曰伊弉諾尊は国月日日本国浦
安国細戈は是国磯輪上秀真国後天
天貴人神月之[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
有馬　人の國　土佐國　西の國　この國　[illegible]
[illegible]　吉野　[illegible]
[illegible]
[illegible]　[illegible]　山國
[illegible]　内の國　[illegible]　[illegible]
[illegible]　豊前　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]



[illegible]
[illegible]
[illegible]

世ことゝ人の心をのべたるなり

万葉集に草部

草部

草は七種なり　この歌ゆゑ草部

一首や

万葉集の名

さいとつ　家屋

花道説

うゑ家ろ

万葉集に草部

万葉集に草部

万葉集に草部

新古今は
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
小夏みきりの
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

若菜（ワカナ）

[illegible]

十二種

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
俳諧言や狂歌之所ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

アしたに花開くこの花ちり
ぬるとき見るもちるにたりすぎ
者とたらんもちるの時ぞとい
へり空世間きもちひとの
ちるをしは
ゆ(アヤ)の知(オイ)世間(ヨ)
百合(ユリ)
の花と

[illegible]

[illegible]

[illegible]

葛

蒹（ハキ）

薄（スキ）

同集抄（トウリヤウ）

苅萱（カルカヤ）

[illegible]

龍膽　物名の不詳　但時平二合す下等

の[illegible]

赤[illegible]

桔梗　物名の赤[illegible]

菊　白八重　村二[illegible]　[illegible]菊の西[illegible]

[illegible]　寛平菊合[illegible]　寛

平菊合[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

入[illegible]　[illegible]南菊[illegible]

[illegible]　長[illegible]　何仕[illegible]

[illegible]

菊[illegible]

已上菊合[illegible]

[illegible]菊[illegible]

[illegible]更[illegible]

菊[illegible]

のちかいぬや桜ちる

野

蕎ひとくさ

岸さ月のさ草とらん月の物思ひ

雁よりこの月七夕清めい何ぞ

しらるる物くさ草千尋藻

絶へしらとり

藻しほ何ぞ奥津しほ

しほしほとかくさとらるる

くさ蕎麦

蕎麦みとすりあのすすきとあいあるあ

えらの四よ角つとえらの

ひとくさいなかくしかしとを見い

り陰異の持ち形陸

川とけとえらとを見つとを

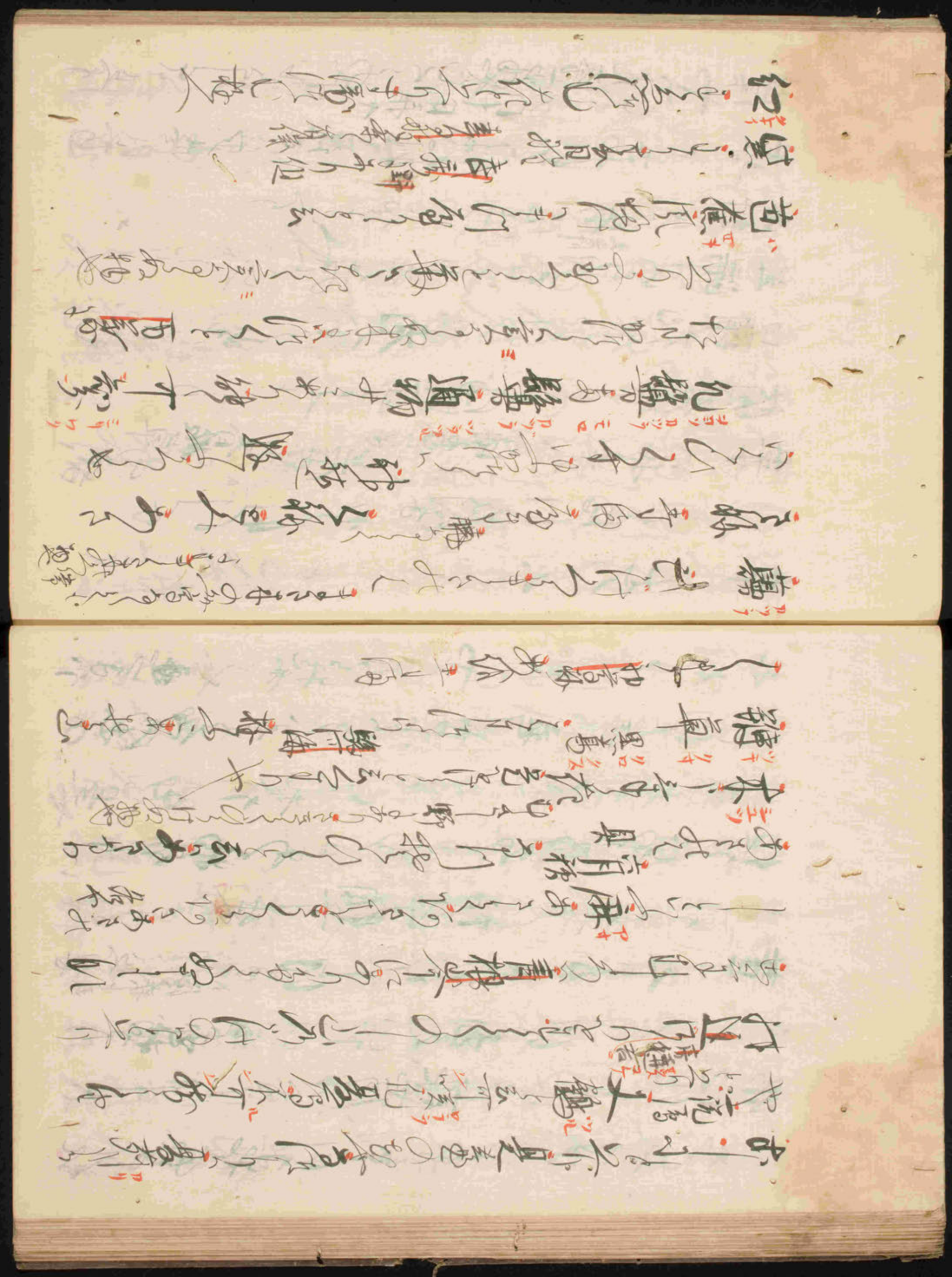
芝道芝生見い中原

藍ふあ

蓼や外

家草鴨（ツキ）仮（リヤ）名草（うなぎ）と云
意草（ミヤ）と也（ヤ）菅（ス）草（ス）
仁草（ヤ）清浦物（ウラ）伝（ツタ）
草（ス）と申草（ス）
注草（ス）
物（モノ）或説草（アシ）や草（カヤ）
悪草（シノブ）
使草（ス）
いとう草（ス）

枝（ナガ）草（ホシ）
にい草（ス）
草（ス）
但草（ス）
草（アシ）
あ草（ス）
形草（アラヌ）但草（ヨロシ）
草（ス）
草（ス）
草（ス）



蓬（ムグラ）や　荒廢の門とさしてとぢ
尊　ぶきわれ　ぶわれ　二位殿をうせさしをり
土針（ツチハリ）　とく宿よりとつ　大三川
羊蹄（ヤマノイモ）　いちのむらもとみとをり
白頭　老人　ろうはく
濱木綿（ハマユウ）　ゆうの花　とをり
菜　いな　海　若菜　春始草
芋（イモ）　ものなし　ものなし

實鉢（カツラ）　ぶ　ぶ　ぶ

[illegible]

和歌 [illegible] 遊宴物 高こだかく [illegible] 非心流千社

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

柳は同時の物也 市士も

[illegible]

[illegible]

柳の陰の物や 左方より

[illegible]

代の高花と云 [illegible]

梅花八重 正家 [illegible]

[illegible] 太門 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

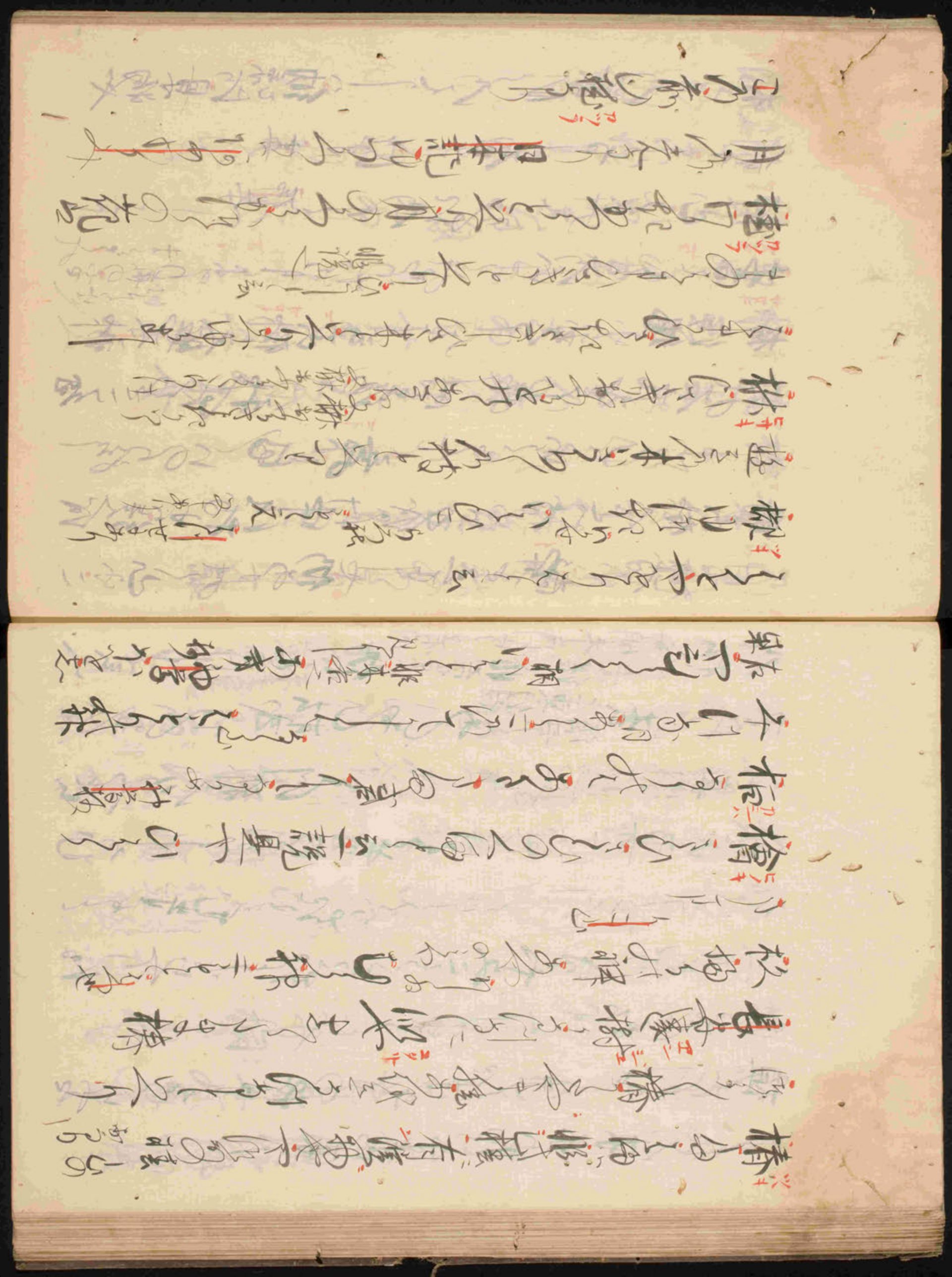
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



楢（ナラ）の葉に入れて納涼に景物也

梨（ナシ）子本こそ毒

柿（カキ）心うるはしかりけれ　柿本

書（スミモノ）こそいまいましけれ

柳（ヤナギ）伊勢物語にむかしの人の歌のこゝろ

天代石六とをうたはれ時と雨ふり神たちこゝ

こゝろもとひこいもとんと　蕨（ワラビ）色いのり

時雨柳（シグレヤナギ）なつかしの　玉ゆらけ中流柳の後

はつかの歌（ヘイ）　仍あ[illegible]

[illegible]柳のあるうり一瓜（ウリ）

栗（クリ）　[illegible]

樗（カシ）　[illegible]

楠（クス）　[illegible]

椎（シイ）　[illegible]

ちぬとのかつら

榊（シバ）　[illegible]

[illegible]

[illegible]（カガ）　[illegible]

蝦手（カエデ）　かへでみたりとも云り

未不開（アウ梅）　梅（ウメ）　あかりさいはいかの枝ハ明ル

習と云り

黄柳（ツゲ）　楊（ヤナギ）　黄楊（ツゲ）ハ三月枝ハ花のとく

櫟（シラカシ）　ちさ　ちうし

寄生（ホヤ）　寄生ハ木ハ

桜（クヒナナシ）　桜ハ　ちうしのその不言（モノイワ）事（トウ）ハ

はか櫨檀（ハジ）　櫨檀（ハジ）ハ紅葉ハ　ちうしハ　黄葉

おかあせこ　花さくハ　遅代（ヒノヒ）無（ナシ）

桜　家本（ヒノヒ）ハ　下ハ　ちうしハ　ちうしハ

ちうしハ　ちうしハ　ちうし

えてこれ清水の所に百ばかりすえて見こすを
椿（コスヘ）
葉（ハ）青（アオ）紅葉（モミヂ）上下岩ともに見る落葉（ソヤ）
すぎ　くろ　竹　柳　松　前　ぶな　蓮（ハチス）　松
根松　稲（イネ）　さくら　ゆり　きく
ちり　他　まつ　見　未　月　菊　物　ふり　稲　椿

[illegible]
何花馬少絡
[illegible]
[illegible]
但[illegible]詠有何[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

鶏（エハトリ）ノ付馬

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人[illegible]

[illegible]

付[illegible]

鷺（ツハメ）[illegible]

[illegible]

かたりく来物（ソル）

文書（ツミ）同[illegible]物（シウケン）[illegible]

雀（スヽメ）[illegible]

烏（カラス）[illegible]

[illegible]

[illegible]

鳥（トヒ）[illegible]

鶯（クヒス）[illegible]

[illegible]

鷹（タカ）[illegible]

[illegible]

羽を
つ[illegible]
[illegible]
右の羽をみてとて
[illegible]
鷹
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鶏（カツウ）　秋の物　實行寺合一夜ノ鳴ト云ル雑ノ

物秋物

鶏（シトヽ）　鶏人　[illegible]

[illegible]

伯労鳥　鵙　百舌鳥ト云花ヲ[illegible]

[illegible]

物[illegible]

[illegible]

鶺鴒　いもせ鳥　[illegible]

鳥ト云説ニ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くまとりなり格へたり

鷺 鶏月 あえことあえことわこうよう鶏是雉鳥

ケテウ

云ることに不可論

白鳥 白い馬 黒月 黒たにあわれ

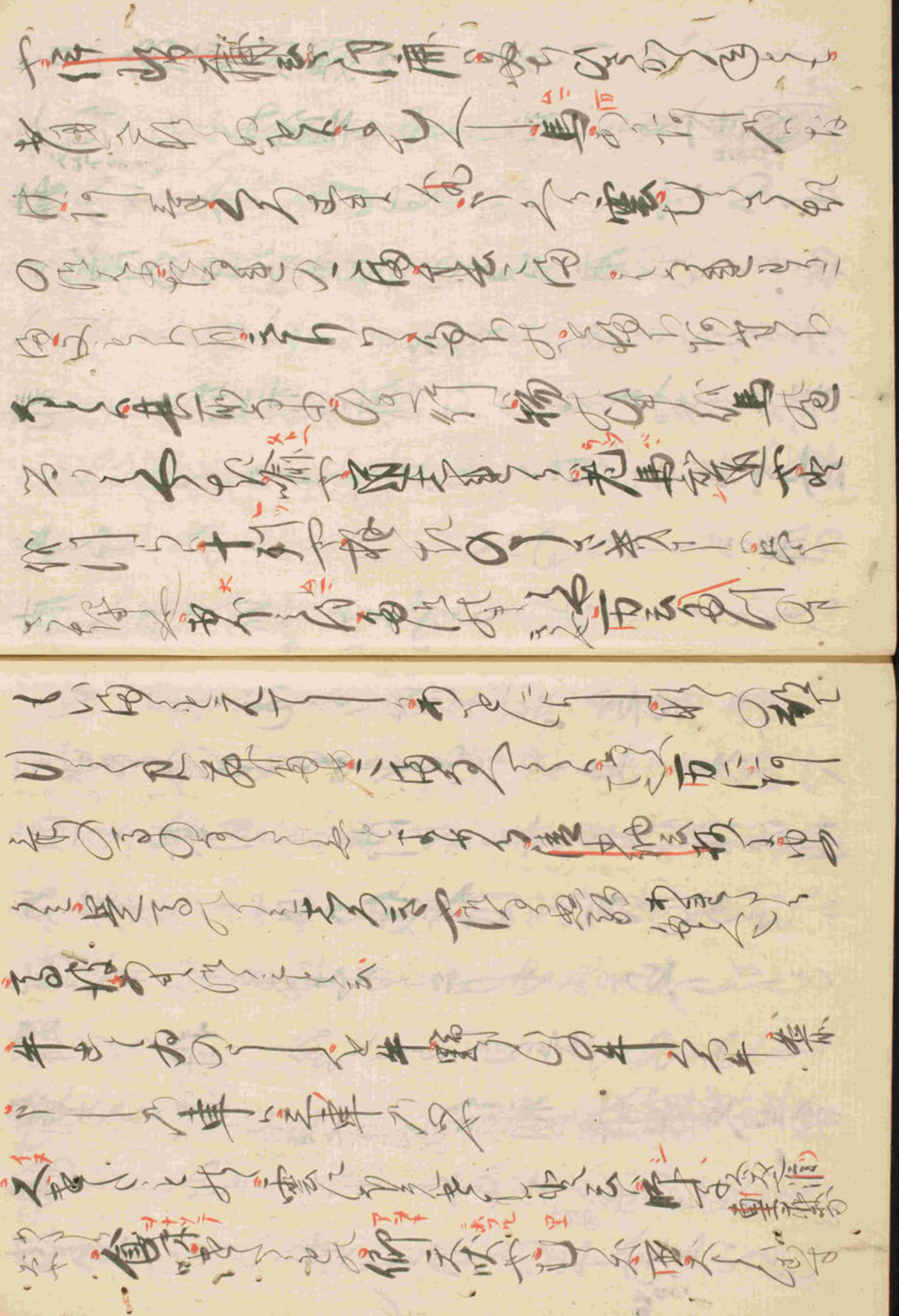
とかりまる云ることに

ことにとり留ることに

ことにとり

ことにとり

ことにとり



[illegible]

猪

猪之能用説　後賴雄畧天皇御

野に猪[illegible]

猪[illegible]

[illegible]

[illegible]

出都

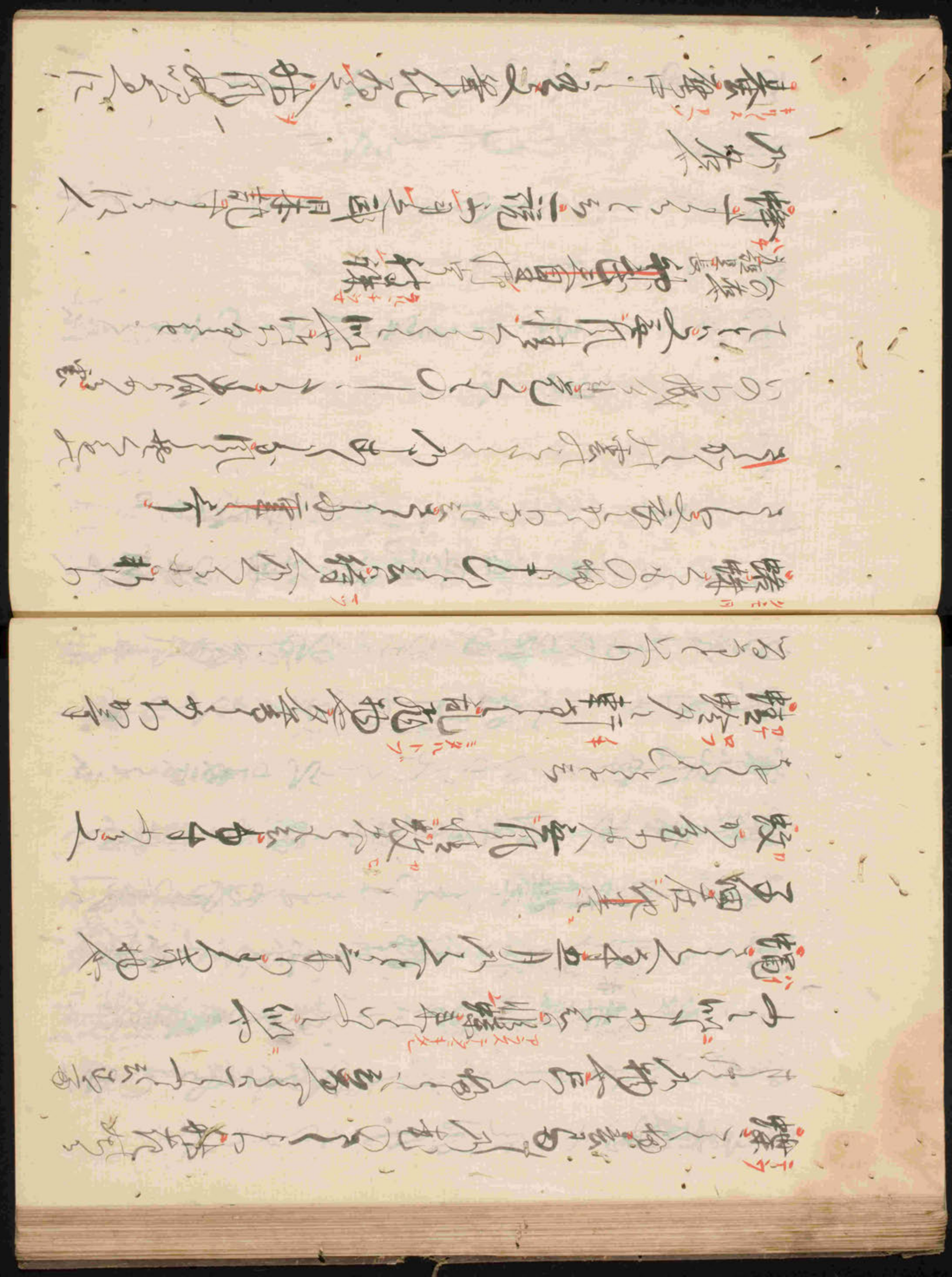
出杉鉾[ス]をもたいまつ[ひ]の火[ひ]に喜[き]

[illegible]出[で]給[たま]ふ[う]野元[ノモト]長[ナガ]

[illegible]

[illegible]

[illegible



魚部

臭（ウヲ）　魚のくさきもの　或号草魚或号真鯉流

くさい（俗仮臭）　五十ばかりの老人の月毎に

ひとつ臭

せこ物（長二寸ばかりの老人の月毎に日本記日（イスノ）

鰭広鰭（ヒロビレノハタタサヘミ）　鯉　鯉　魚ども物也

魚こと物　しつ臭　河魚　魚物

鯛（メイ）　鯛　月毎記鯛　浦鴻　物

酔（エフ）　酒　魚　醤　鮭　鮭　潮（シスメ）

鮒（フナ）　万葉　こと物　鮒　東

鮎　鮎　海鹿　釣（ツリ）　鮭　鯖（サバ）　鯛

鯖（サバ）　鯛　鯛　鯛　鯛　鯛

鯛（タイ）　鯛　鯛　鯛　鯛

鯛（タイ）　鯛　鯛　鯛　鯛

鯛（タイ）　鯛　鯛　鯛　鯛

鯛（タイ）　鯛　鯛　鯛　鯛

海月（クラゲ）ども水の川にうかぶ
鯨（ナヨシ）ちらめき 日本記云 鯨（ツリハリクウ）食と云ふとかり
未（ミトメ）しき心奥（ウホ）のとしの留（トノ）
人倫（ジンリンノ）変

人やをしらぬ 長楽 源氏物語 ふるさとの宮
大空雲 海漢 あはれかりがら 橋 宮川
雲のよう 色 ものと 物 海 あれも
源氏 こを 中 ちそかり 北 ものと
雅時 綱代 宇治 鄙 宮人 ものうらい

家 ものす 東（アヅマ） 万本 ちあさ 原 ちやうく
波 万 ものの ものの 首 いち 故郷（フルサト） ここの
ものの 原 ものの 一 一 群 統（ツリ）
寺 万 ものの 万 ものの 万 海 原 ものの 万 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの
ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの 長楽 ものの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

友[illegible]

人事

[illegible]

四[illegible]

憂[illegible]

夢[illegible]

[illegible]

命[illegible]

[illegible]

[illegible]

寝[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちかすとよばらす此物語ハ[illegible]
こゝすくして此月夜[illegible]
宗祇 いと多け夜
言みなと所ちまきまきまとまとの巻 [illegible]
[illegible]
[illegible]
月ち[illegible]
宣有 みなとの[illegible]
歌 和歌[illegible]
[illegible]

文章 くしのたまし[illegible]
法令 多の[illegible]
学生 [illegible]
[illegible]と云一説
[illegible]
音曲 [illegible]
[illegible]
病 [illegible]
祈 [illegible]

右之石ハ[illegible]
平[illegible]ひかの入門ハ辻[illegible]道ゆき
先祖[illegible]
[illegible]
[illegible]

鬢髮（ビン）

腦（ワキ）

脳（ノウ）

辮（ヒダ）

髮（カミ）

辮髮（ベンパツ）

髮（カミ）

髮（カミ）

髮（カミ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

羽(ハネト)
[illegible]
[illegible]
神(スミ)
[illegible]
尾花の[illegible]
[illegible]
麻(アサ)
[illegible]
紐(ヒモ)
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
帯(ヒモ)
[illegible]

[illegible]
袴(ハカマ)
[illegible]
書(ヒ)
[illegible]
錦(ニシキ)
[illegible]
[illegible]
結(アヤ)
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

緑 辛子の 塩漬 あさひく 五月のみの 白

はつかつ 陸奥

布 木綿 俵 馬

ひさ 牛人の 奉 ぬ

備 前 酒 いさみ 月 菓子 あい 白のとあいをり

荷 ひ ひこ

酒 みれ さよみ

もつ さ ろ 上 みさ

すこ ひ 粉 酒 酒の

ひ ひ さけ 六七月 あり

仮 ひ いぬ あさけ 家 あ 首

ひ 花 あ 種

菓子 菓子 海ひ あ

崩 緒

薬 不老 不死 る 雪

いと 遠 菓子

海物 海 海

藻 藻 藻

若菜 春の始めに煎菓子をこしらへ つくして家ゝに出すなり

あさのうつぶし 京にて特西

洞 刀のあとをまもるくたきものの

合注 こつとうに 和言有

食物 食物 食物 ものあるに帝とたて

まつる物をとりて 進 食 具 上 自 物

しゝとに 水 ゝ ゝ

精進 とうに 菴苗 首 草 蘚 仏 之 根 みな

伊世の宮平時 時 ゝ ゝ ゝ ゝ

精進 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

いつくさ ゝ ゝ 物五穀

雜物部

形 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ 国 ゝ ゝ 天 ゝ 馬 ゝ 蓋

あまの原 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

河 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ 泊 ゝ

海つまし ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

あ家 ゝ ゝ ゝ 杉 ゝ ゝ ゝ

口 塩 ゝ 捨 ゝ ゝ ゝ ゝ

[illegible]

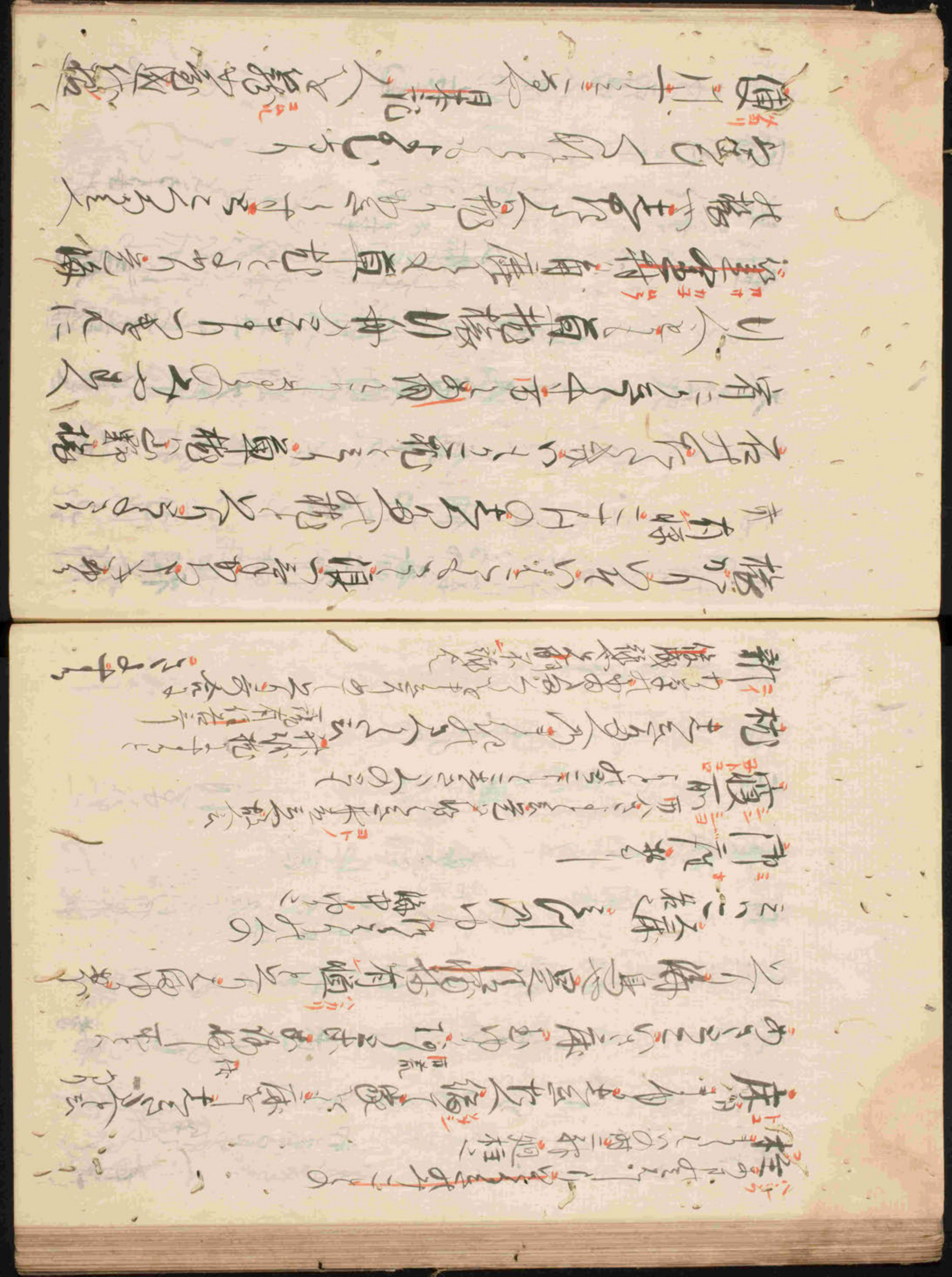
[illegible]

[illegible]

簾（スダレ）たれ給へる所の御ありさま、
主殿司（トノモツカサ）、あのまゝ、
まれ〳〵と云ふ三位殿（サンミダノ）と、
廂（ヒサシ）、ひろ〳〵、
ひ（有）猶（ハカリ）、唐（カラ）
墨（スミ）やう、
すゝ、是（コヒ）、手（テ）、神（ツ）
燈（トモシビ）、
籠（カコ）、

紙（カミ）、
筆（フデ）、
書（カキ）、
墨（スミ）、
杯（サカツキ）、
盃（ツキ）、
着（キ）、

簾（スダレ）、
有（ヒ）猶（ハカリ）、
海（ウミ）、畳（ジヤウ）、
三（ミ）、
神（ツ）、
燈（トモシビ）、
籠（カコ）、



障子霧入廉形古事

冠のみとりのせこ

皆くくりくくりとせくくよむ[illegible]

剣のすあしをこりの[illegible]

本在所今夜東四条野火[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

流矢やあたりの生れ枝やうちの重

[illegible]

的

釣[illegible]

鐘[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅、うゑて[illegible]
[illegible]
真間の[illegible]
湯津の梅、見[illegible]
[illegible]
一說
群り[illegible]
[illegible]
髮[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
琴、手[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]と[illegible]笛[illegible]
[illegible]笛[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

津潟

金[illegible]

[illegible]

[illegible]

歌陰　月明　夕人　草枕　未　水

門面や　ひさぎ　柳　柳　下　毎　石瀬　色ゆゑ　紅葉

あらはれ　かつ　ちる　寸　翼今　時

名の　ひろ　ひ　寸　ひ　ろ　ひ　ろ　ひ　ろ　青

赤櫻　毎　元　下　紅

紅　ま　ち　て　ち　ら　と　ち　ら　と　ち　ら　と　ち　ら　と　ち　翼酢

す　ち　す　ち　す　ち　す　ち　す　ち　す　ち　す　ち　す　ち　す　ち　す　ち　す

緑　ち

思　梅　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　ひ　寸

朱　ま

ゆ　ゆ

と　元在清浦

清　清

板間真途

異名歌

高三や　すさ　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　王

す　す

す　す

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四月、[illegible]万寿元年競馬行幸[illegible]

後朱雀院[illegible]

[illegible]とのたまはせおはしまして

[illegible]

[illegible]院[illegible]

親王[illegible]

[illegible]

執柄[illegible]

[illegible]

公卿をとろの道[illegible]前園

宰相[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

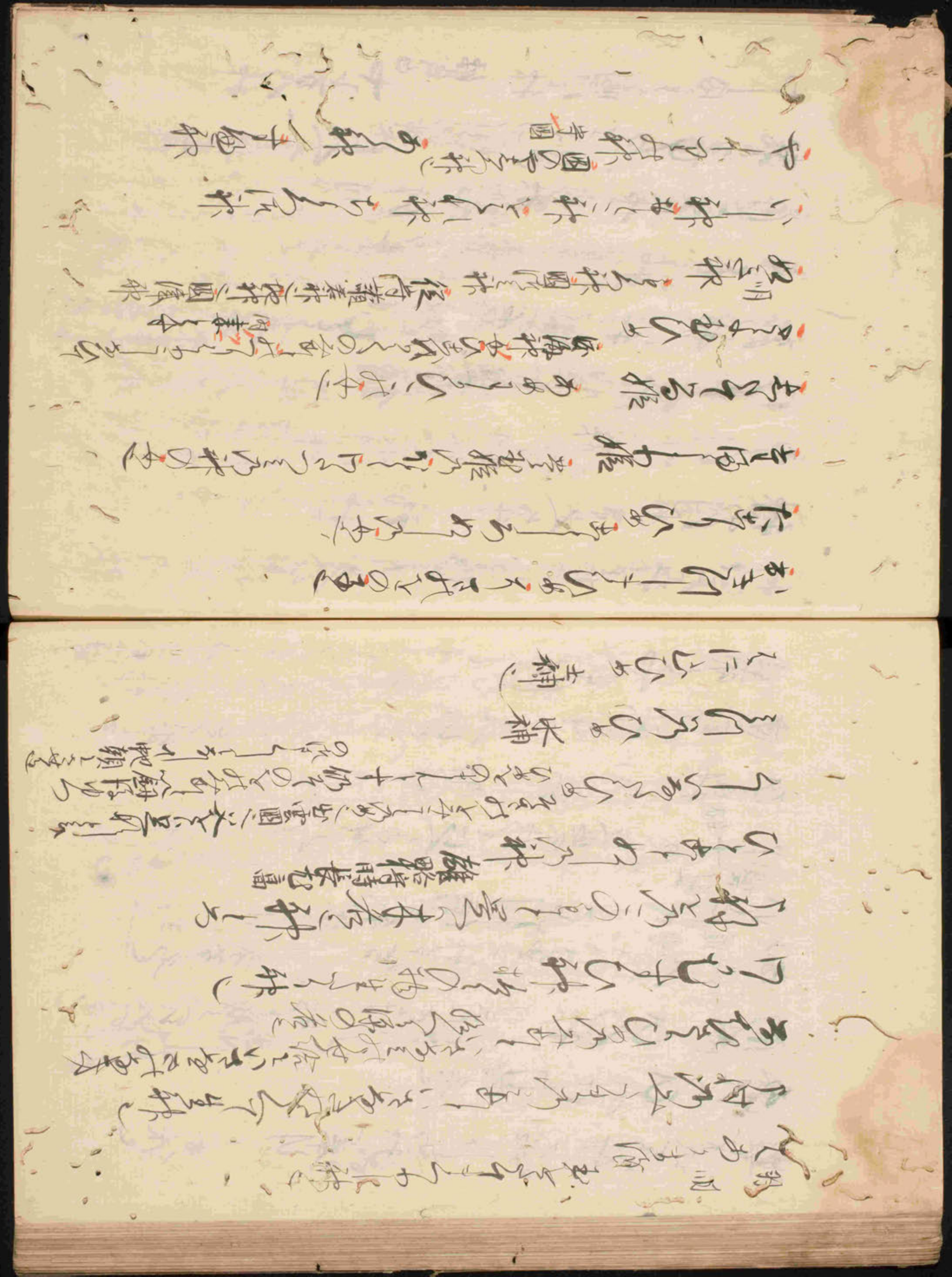
[illegible]

[illegible]

随身と云て兵員人数多引軍をおびたゝしく
左衛門尉ゆきさゝ[illegible]
侍従殿[illegible]
[illegible]右衛門[illegible]
侍従[illegible]
[illegible]
同月[illegible]
京[illegible]
[illegible]

侍従今[illegible]
使[illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

盜人（スス）みそかにもちてゆくを
稲荷人（イナリヒト）まいりたる
兩柄（リヤウヘ）そなへたる
兩柄（リヤウヘ）帝（みかど）にまいらせる者
神　日本記神名帳　熊野井上之
薦宿（こもり）の神　かりこの仲國（なかくに）
たすけの神　さらしあい神
文陳　あさひ　こつかう　ひめ神
中　ねひ　わひ神　神食　幸　吉野　時石　丹井中　花
あまひ　いなかひめ　あまひ　ひめ　給
道數（ミチ）の神　いさち　高山　給　名
ひこ神　ひな神　ひ賀　有
鈴　ひ十あ
文照天神　こ
盤　製
いさく　こ川　備坐神
七通　盤
ちの神　いさち神　神　城芋　名
ひこひの神　月　天　ひ　神　成　紅　名
あ紀ひ　ひ神　月稜　名
たちの神　天石戸　神　奉　お給



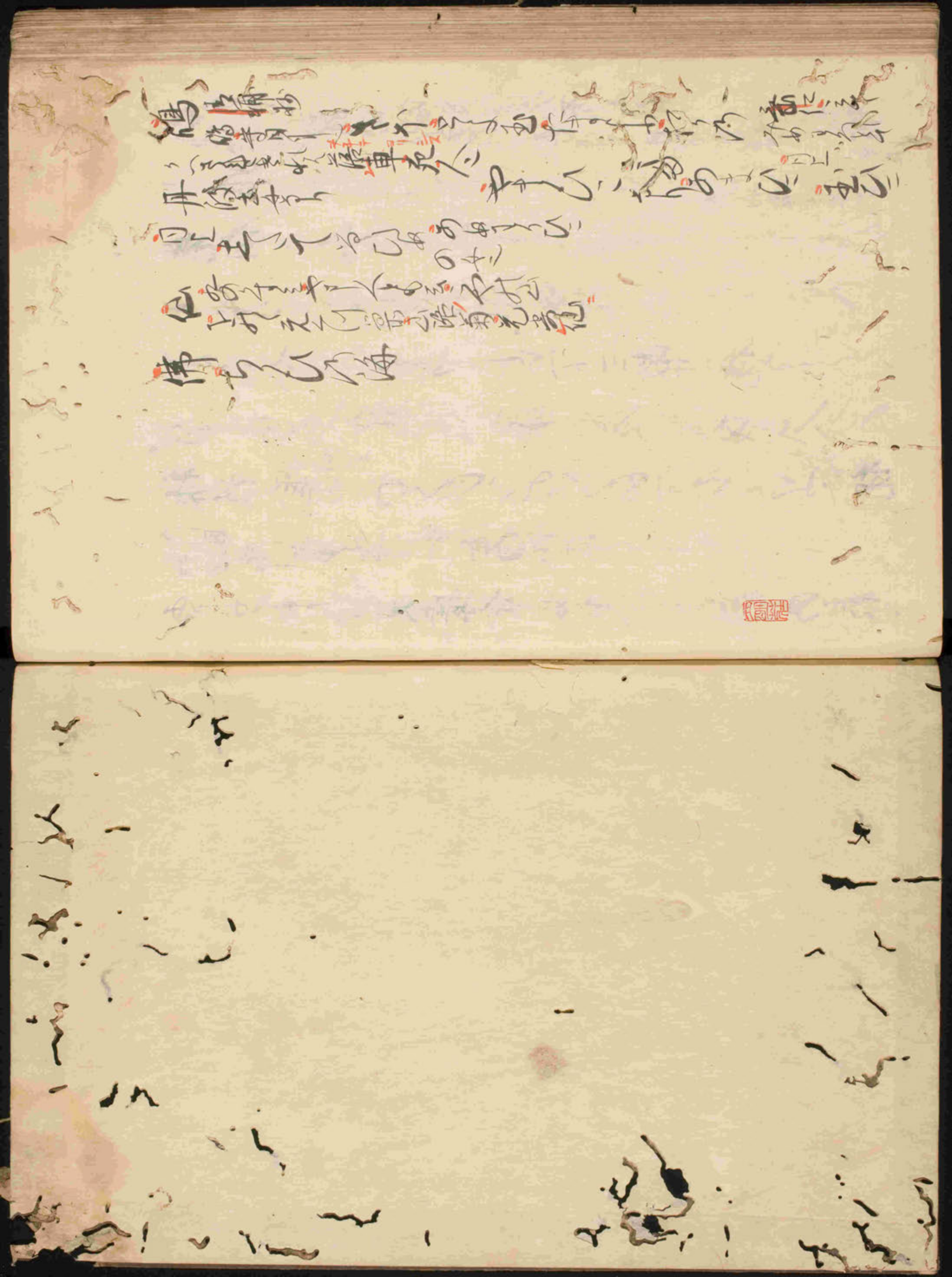
[illegible]

[illegible]

[illegible]

信吉ハ行ぎ有とあり
[illegible]に本說今ハ不吉事と云事と奉後
先[illegible]ますハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
ひしろき[illegible]祭と神籬とうきり
神ハ[illegible]神のハさ[illegible]
[illegible]神殿を祭
[illegible]
[illegible]

あ[illegible]天葦舎[illegible]
神の[illegible]
神殿遊[illegible]
[illegible]祝
[illegible]
[illegible]
[illegible]



110X
88
3